

# 10月も役立つ講座がいろいろ!

## シングルマザーの会

◆10月18日(日) 13:30~15:00  
 場所: 参画センター学習研修室3  
 参加費: 無料 託児: あり(要予約)



## 子育てリフレッシュサロン

◆10月15日(木) 10:00~11:30  
 場所: 参画センター学習研修室3  
 参加費: 無料 託児: あり(要予約)



## 摂食障がい家族の会

◆10月17日(土) 13:30~15:30  
 場所: 参画センター相談室  
 参加費: 無料



知ってる?

## 男女共同参画のキーワード

### 第5次男女共同参画基本計画の策定へ

第5次男女共同参画基本計画の策定については、平成27年12月に策定された男女共同参画基本計画(第4次)を、令和2年度内に改定する予定となっており、内閣総理大臣から男女共同参画会議に対する計画策定に向けた「基本的な考え方」について諮問(令和元年11月12日)に応じ、検討が開始された。

男女共同参画会議の下に、第5次男女共同参画基本計画(以下「第5次計画」という。)の策定のため「第5次基本計画策定専門調査会」(以下「専門調査会」という。)を設置した。専門調査会において、現行計画(第4次)のフォローアップを実施し、フォローアップの結果を踏まえ、第5次計画策定の方向性や全体的な方針について議論を行う。

また、必要に応じ、専門調査会の下にワーキンググループを設置し、専門調査会での議論を踏まえた詳細な検討を行い、その結果をとりまとめた専門調査会に報告する、という計画のもと行われてきた。

そして、今年、第5次男女共同参画基本計画策定に当たっての基本的な考え方についての「オンライン公聴会」の参加者募集が8月中旬までにあり、オンライン開催は第1回目が8月25日、第2回目が8月29日にあった。

## 市民企画講座

予告

「ブラック・ライヴズ・マター(BLM)から見えてきたもの  
 一人が人として尊重され、共に生きられる社会」

◆11月15日(日) 13:30~16:30 (開場 13:00)  
 ☆基調講演 13:30~「ブラック・ライヴズ・マターの運動から」  
 講師: ゴードン・ムアンギさん(四国学院大学教授)  
 シンポジウム: 14:35~「日本における多様性と人権について考える」  
 パネリスト: ゴードン・ムアンギさん、金永子さん、西川小百合さん  
 コーディネーター: 岡田徹太郎さん

場所: 参画センター学習研修室全体  
 参加費: 無料 定員: 50名  
 託児: あり、無料、1週間前までに要予約



## 「法の日」週間行事(出前講義)

「裁判所の仕事~身近な法律問題とその解決~」  
 金銭トラブル、離婚、相続などの身近な法律問題について  
 裁判所がどのように解決していくかを学びましょう。

◆11月16日(月) 13:30~15:00  
 講師: 寺岡 洋和 高松高等裁判所判事  
 場所: 参画センター学習研修室3  
 参加費: 無料 定員: 30人程度  
 託児: あり、無料、1週間前までに要予約



第5次男女共同参画基本計画における成果目標の動向を見てみると、例えば、「都道府県防災会議の委員に占める女性の割合」は、成果目標は令和2年で30%だが、計画策定時の数値は平成27年で13.2%、令和元年(最新値)で16%にとどまっており、目標の6割にも達していない。

第5次策定における基本的な視点と取り組むべき事項は9項目ほどある。指導的地位に占める女性の割合が2020年代の可能な限り早期に30%程度となるよう目指して取り組みを進める。さらに、その水準を通過点として、指導的地位を占める女性の割合が30%を超えてさらに上昇し、2030年代には誰もが性別を意識することなく活躍でき、指導的地位にある人々の性別に偏りがないような社会となることを目指す。そのため、国際的水準を意識しつつ、ポジティブ・アクションも含め、人材登用・育成や政治分野における取組を強化する必要がある、という項目がある。

第4次計画策定後、働き方改革、女性の活躍推進、指導的地位に保育の受け皿整備などの両立支援施策の充実を背景に、M字カーブ問題は確実に解消に向かっているが、指導的地位に占める女性の割合が30%という数値目標は、達成できず、諸外国に遅れを取っている。あらゆる分野で女性の参画拡大を進めていくことが、国際社会における地位向上への最重要課題であると思われる。(資料:内閣府 共同参画)

# 9月の行事から

9/6

映画上映&トーク  
 映画「八十七歳の青春 市川房枝生涯を語る」  
 参加者: 39人 場所: 学習研修室全体  
 1部は市川房枝さんのDVD視聴。2部は、県下の女性議員との語らいの場を設けた。  
 (参加者の感想)「無料でよい映画を観ることができた。市川房枝さんの意志を受け継いでこれからも女性の参画をすすめたい」「女性議員の現状を知り、男女の壁はまだ厚いと実感した」等。



10-11

オンラインdeこんにちは!  
 参加者: 延20人 場所: 学習研修室全体  
 今一番オンラインで使われているZoomをダウンロードして、会議に参加しホスト体験をするまでを目標に開催した。  
 (参加者の感想)「Zoomができたので、今後活用したい。友達や会社での利用ができそうだ」「親切に教えていただきありがとうございました。継続して勉強していきます」「今日はついていくのが大変でした。また参加したいです」「友達数人とおしゃべりできると楽しいなと思いました」等。



9/14

第1回 転勤者とさぬき人のはじめまして講座  
 高松のうまいもと楽しいトーク  
 参加者: 7人 場所: 学習研修室1・2  
 今年で14年目の講座。毎年4月のスタートがコロナ禍の中、やっと開催できた。高松に転勤して来て、香川をもっとよく知ろう、楽しもうというポジティブな方ばかりで高松の名産品に舌つづみを打ち、情報交換に花が咲いた。  
 参加者の声「このようなきっかけづくりの会はとても助かります」等



9/17

生き残るための防災力アップ講座  
 コロナ禍で考える災害時の避難  
 岩原廣彦さん(香川大学客員教授)  
 参加者: 24人 場所: 学習研修室全体  
 自然災害は、いつでもどこで起きかわからない。高松市民全戸に配られた「ハザードマップ」を見ながら自分の住んでいる地域の災害時の危険度、避難場所などの確認をした。  
 (参加者感想)「豊富な資料をもとにお話して下さり勉強になった。まとめの話や忘却曲線もよかった」「ハザードマップの見方、クリップ方法も学べてよかった」「災害により避難場所が異なることがわかった」「縄文時代の地形図が参考になった」等。



## トピックス

## 日本女性会議2020あいち刈谷 オンライン開催決定!

### 日本女性会議2020あいち刈谷 かけがえない“わたし”を生きる~ものづくりのまちから発信~

11月13日(金)  
 ◆オープニング 10:00~  
 ◆基調講演 10:30~  
 「コロナ禍とジェンダー」  
 講師: 上野千鶴子さん(社会学者、東京大学名誉教授)  
 ◆分科会 セクション1 13:00~  
 ◆分科会 セクション2 15:00~  
 11月14日(土)  
 ◆分科会 セクション3 10:00~  
 ◆記念講演 13:00~  
 「女性が社会を動かときー日本骨髄バンクのケースから」  
 講師: 大谷貴子さん  
 (NPO 法人全国骨髄バンク推進連絡協議会 顧問)  
 ◆記念シンポジウム  
 「スポーツから変える世界と未来」  
 講演者: 宮嶋泰子さん(スポーツ文化コメンテーター)  
 シンポジスト: 兼松由香さん、堀田崇さん、村木真紀さん  
 コーディネーター: 来田亨子さん  
 ◆エンディング 16:00~

11月15日(日)  
 ◆エキシビジョン 10:00~13:00  
 ミライク若者会議「U-40と考える かけがえない“わたし”を生きる」  
 <申し込み方法>  
 9/7(月)以降、大会ホームページか該当リンクから直接お申込み下さい。一般と学生とで申し込みフォームが違います。  
 QRコードから➡



●参加費 一般 1人2,000円/学生 無料  
 ●申し込みから大会参加までの流れ  
 ①参加申込期間 1次 9/7~10/18 2次 ~11/6  
 ②参加費の納入(10/18まで)③10/30までに参加に必要な事項をメールにて送る④視聴テスト⑤大会に参加(1次は大会プログラムを郵送しますが、2次は電子データでの提供です)